

「第27回 広島県障害者水泳競技大会」

兼 第24回全国障害者スポーツ大会「わた SHIGA 輝く2025」

広島県代表選手選考会

実施要項

1 目的

水泳を通じて体力の維持・増進を図るとともに、障害者のスポーツ活動の普及・啓発を図る。
また、本大会は全国障害者スポーツ大会の広島県代表選手の選考会を兼ねるものである。

2 主催

広島県立総合リハビリテーションセンター スポーツ交流センター・おりづる

3 共催(予定)

公益社団法人広島県パラスポーツ協会

4 後援(予定)

一般財団法人広島県水泳連盟 社会福祉法人広島県社会福祉協議会
一般社団法人広島県身体障害者団体連合会 一般社団法人広島県手をつなぐ育成会
広島県知的障害者福祉協会 公益社団法人広島県精神保健福祉家族会連合会
一般社団法人広島県精神保健福祉協会 東広島市教育委員会
社会福祉法人東広島市社会福祉協議会

5 協力(予定)

広島身体障害者水泳連盟 東広島市スポーツ推進委員協議会
国立大学法人広島大学トライアスロン部 公認パラスポーツ指導者 おりづるサポーター

6 日時

令和7年2月23日(日)	9:40 ~ 15:00(予定)
選手受付	9:00 ~ 9:40
開会式	9:40 ~
練習時間	10:00 ~ 10:30
競技開始	10:40 ~

7 場所

スポーツ交流センターおりづる プール (東広島市西条町田口295-3)

8 参加資格 広島県内に在住(学校・所属施設・勤務先など含む)する以下の者

- ① 身体障害者…身体障害者手帳所持者(内部障害も含む)で中学生以上
- ② 知的障害者…療育手帳の交付を受けたもの。あるいは、医師の診断等により競技に出場が適当と認められた者、および県内の特別支援学級、障害者支援施設などに在籍する者。
- ③ 精神障害者…精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者。あるいは、医師の診断等により出場が適当と認められた者であること。ただし、全国障害者スポーツ大会の競技種目に精神障害者の区分がないため、広島県代表選考の対象にはならない。

※①②③とも年齢は令和7年4月1日現在

【ただし、全国障害者スポーツ大会出場選考対象者は〔広島県在住(広島市を除く)〕で13歳以上の者とする】

9 申し込み方法

- 参加申込書に必要事項を記入し、令和7年1月31日(金)までに、スポーツ交流センターに持参するか郵送(必着)またはFAX・Eメールで申し込む。

- ・参加申込書は実施要項添付のものを使用するかホームページからダウンロードする。
- ※FAX・Eメールで申し込む場合はTELで着信の確認を必ず行うこと。

参加申込み・問い合わせ先	
スポーツ交流センター おりづる	
〒739-0036 東広島市西条町田口295-3	
TEL：082-425-6800 FAX：082-425-6789	
Eメール oridsuru@hiroshima-wsc.jp	
ホームページ https://www.rehab-hiroshima.org/orizuru/	

10 競技規則

- ・全国障害者スポーツ大会競技規則及び本大会申し合せ事項により実施する。

11 競技種目（競技順）

1	25m自由形	5	50m自由形
2	25m背泳ぎ	6	50m背泳ぎ
3	25m平泳ぎ	7	50m平泳ぎ
4	25mバタフライ	8	50mバタフライ

- ・障害、年齢、男女の区分によって参加できる競技種目が限られているので、詳細は「第27回 広島県障害者水泳競技大会障害区分・種目一覧表」で確認すること。

12 競技方法

- ・全て個人種目とする。（リレーは実施しない）
- ・エントリーは1人2種目までとする。
- ※種目間が短くなる場合も含めて、2種目エントリーの方は了承の上、申し込むこと。
- ・競技種目は、原則として障害区分別・男女別に行う。

13 表彰

- ・表彰は各レースの終了後、準備ができ次第行う。（すみやかに表彰場所へ移動する）
- ・身体障害者は各競技種目・障害・年齢・男女の区分毎に1位～3位を決定し、賞状とメダルを授与する。
- ・知的障害者と精神障害者は、各組別で1位から3位を決定し、賞状とメダルを授与する。
- ・上記以外の者には、記録証を配布する。

14 申し合わせ事項・その他

- ・本大会は、第24回全国障害者スポーツ大会（わた SHIGA 輝く2025）の広島県選手団の選手選考を兼ねて行う。（広島市在住者は選手選考の対象から除く）
- ・自由形、平泳ぎ、バタフライのスタートは、台の横方からの飛び込み、または水中スタートを選択できるとあるが、飛び込みスタートを初めて行う競技者は安全上の観点から、水中スタートを推奨する。
- ・主催者においては応急の処置しかできないので、参加にあたっては医師の診察を受けるなど、自己の責任において健康と安全については十分留意する。
- ・水泳競技大会に出場する競技者は国際水泳連盟【WORLD AQUATICS (旧 FINA)】の公認した水着を着用することとあるが、本大会においては、競技者の判断に委ねることとする。ただし主催者側としては、【WORLD AQUATICS (旧 FINA)】の公認した水着の着用することを推奨する。
- ・プールサイドに入れるのは選手1人につき、介助者1名までとする。
- ・プールサイドはサンダルの使用を可とする。
- ・プール内及び、プールギャラリーでの写真・ビデオ撮影は大会本部に確認すること。
- ・アリーナを待機場所とする。基本的にはプールサイドで待機はしないようにする。

- 更衣室のロッカー（100円硬貨キャッシュバック方式）は必ず施錠し、貴重品については各自が責任を持って管理する。
- アリーナで待機する時の防寒対策は各自で準備すること。
- スタート時のフラッシュ撮影は禁止する。
- 駐車場については、リハビリテーションセンターの職員駐車場を使用する。
- 大会当日は、テレビ・新聞等の報道機関が来場することが予想され、選手の氏名・写真・映像がテレビ・新聞等で報道されることがある。また、大会プログラム・大会報告書及び当センター機関誌などに障害区分・年齢区分・氏名・競技中の写真などを掲載するので、このことを了承のうえ申し込む。
- 障害区分 23 出場する選手は、光を通さないゴーグルの着用を必須とする。
- 今後の流行性ウイルス感染症等の流行状況により、主催者側による感染予防対策を講じる可能性がある。
- 流行性ウイルス感染症や、天候等の影響により、大会開催の日程変更・中止の可能性がある。